

平成29年度県立高等学校入学者選抜に向けた取組について

1 これまでの経緯

- 平成28年 3月 平成28年度・27年度入学者選抜における採点誤りが判明
※本来合格とすべき受検者を不合格としてしまった
→ 調査改善委員会の設置（原因究明・再発防止改善策策定）
- 6月 調査改善委員会「最終とりまとめ」を教育委員会に報告
教育委員会「再発防止・改善策」策定
- 9月 補正予算計上
（新たな採点システム（マークシート）導入経費・和解金）
- 10月 マークシート導入リーフレット配付（中学3年生向け）
- 12月 マークシート解答用紙（サンプル）配付（中学3年生向け）
OMR（マークシート読取機）導入準備
採点システム担当者研修会（13・14・15日）
基本マニュアル見直し（別紙参照）
各校研修会（～1月）
- 平成29年 1月 本番シミュレーション研修会（24・25日）
- 2月 平成29年度入学者選抜共通選抜学力検査（15日）
マークシート読取り（拠点）実施（16・17日）
2系統採点、合否判定分岐点（ボーダー）付近の点検
合格発表、「答案の写し・採点結果」交付（28日）
- 3月 教育委員会による再点検（10・11・13・14日）
調査改善委員会への実施結果報告（23日）

2 再発防止・改善策の取組状況

別紙（報告資料2）のとおり

3 共通選抜（県立高等学校）結果の概要

(1) 受検者の状況

学 校 数		受検者数	合格者数
全日制	139 校	47,885 人	40,174 人
定時制	21 校	1,256 人	1,196 人
通信制	2 校	263 人	263 人

※ 連携募集、クリエイティブスクール（5校）及び通信制（2校）については学力検査未実施

(2) マークシート関係（全日制 134 校）

ア 学力検査受検者の内訳

マークシート受検者数	46,444 人 (99.5 %)
マークシート以外受検者数（特別・中退募集、ルビ付等）	230 人 (0.5 %)

※ 連携募集及びクリエイティブスクールを除く

イ マークシートの読取り時間（2度読み）※受検者数が301～400人である58校の平均

	英 語	国 語	数 学	理 科	社 会
読取時間	27 分	32 分	30 分	23 分	30 分

ウ マークシート受検番号の塗り間違い（修正）数

マークシート 受検者数	修正件数	割 合
46,444 人	2,171 件	0.9 %

※ 割合は5教科分のマークシート数に対するもの

(3) 記述式問題について（全日制 134 校）

ア 記述式と記号選択式の問題数

	英 語	国 語	数 学	理 科	社 会
記 述 式	6 問	6 問	9 問	5 問	5 問
記号選択式	24 問	23 問	13 問	23 問	26 問

イ 記述式問題と記号選択式問題の配点

	英 語	国 語	数 学	理 科	社 会
記 述 式	21 点	20 点	39 点	20 点	22 点
記号選択式	79 点	80 点	61 点	80 点	78 点

ウ 中間点のない記述式問題の採点・点検時間

	英 語	国 語	数 学	理 科	社 会
問題数	3 問	4 問	8 問	3 問	2 問
時 間	4 時間25分	5 時間26分	5 時間 3 分	4 時間20分	4 時間25分

エ 中間点のある記述式問題の採点・点検時間

	英 語	国 語	数 学	理 科	社 会
問題数	3 問	2 問	1 問	2 問	3 問
時 間	8 時間21分	13時間59分	10時間 9 分	6 時間22分	16時間12分

(4) 採点・点検業務にかかった日数等について（全日制 134 校の平均）

日 数	職 員 数
3 日	52 人

(5) 採点環境（全日制134校の平均）

ア 会場数

会場数	3 会場
-----	------

イ 休憩時間の取り方について

	全職員一斉	教科ごと	系統ごと	その他
学校数	99 校	24 校	6 校	5 校

(6) 合否判定分岐点付近の再点検について（全日制実施校平均）

対象者数	点検時間	担当職員数
86 人	2 時間30分	35 人

(7) 県教育委員会による再点検[抽出]（全日制・定時制138校、特色検査問題含む）

対象者数	点検時間	担当職員数
6,328 人	27時間30分	67 人

※ 再点検に関わった職員数

(8) 学校及び教育委員会への問合せ件数（県立143校、3月14日現在）

	学 校	教育委員会
問合せ件数	132 件	27 件

(9) 自己情報開示請求の件数（県立143校、3月14日現在）

請求件数	42 件
------	------

4 今後の課題と取組

- 共通選抜学力検査以外の検査におけるマークシート方式の導入
- 学力検査問題について（質と量）
- マークシート読取機の全校配置に伴う準備体制
- 新入生アンケートの実施
- 学校現場（高校・中学）からの意見・要望等の集約

※ 入学者選抜制度そのものの見直しについては、引き続き検討していく。